



我が中之口村は、昭和二十九年に村制を施行して、めでたく二十周年を迎えることができ、この上ない喜びであります。

村制が施行されてから上水道の建設、統合中学校の建設、村財政の建直しや道路整備、農業改善、中小企業や福祉・教育の問題等々、着実に歩みで発展してまいりました。先人ののこして下さいました素晴らしい宝であり、ひとえに皆さんのご理解とご協力の賜と心から感謝申し上げます。



中之口村誕生二十周年に思う

中之口村長 酒井正五

ます。とうとう...川の自然の恵みは九百年の伝統ある道跡が...見られております。善良な村民とのつながりのなかで、いろいろなできごとが、今では喜びとして爽やかによみがえってくるのです。

中之口村二十年の歩みは、これから大きく躍動し発展するため、その時々、真剣に生きてこられた諸先輩方の貴重な足跡であります。

希望と躍進にみちた我が中之口村、健康で住み

みなさん合併二十周年おめでとうでございます。記念誌「二十年のあゆみ」発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

本誌にも掲載してありますが、今日までの二十年間社会経済各般にわたり変転きわまりない日々でありましたが、村勢はますます発展途上であり、村民の皆々様が明るく住みよい豊かな文化生活ができるよう、教育文化・福祉厚生・産業基盤の整備・道路等の諸施策が次々に進め



二十周年を祝う

中之口村議会議長 関寅吉

られていますことは、まことに心強い限りでございます。

合併時は純農村として発足いたしました。最近の経済成長とともに、地理的条件を生かし、工場の進出等により産業は増加の一途を辿っております。

思います。本村が今日の隆昌をもたらしたのも、いつに合併以来建設に多大な貢献をいた

中之口村民憲章

広大な平地を脈々と流れる中之口川は、いつも霊峰弥彦山を写し、私たちに生産の喜びと不屈の精神を教え、豊かな村として発展し、さらに農業を基幹として躍進する大きな夢をもった村です。

私たちは、中之口村の村民であることに誇りをもち、善良でたくましい村民として、より豊かに前進するために憲章を制定します。

- 一、健康で働き、融和な家庭と村をつくりましょう。
- 二、文化に親しみ、緑を愛してうるおいのある家庭と村をつくりましょう。
- 三、たがいに認め助けあって、子どもたちの夢を育てる家庭と村をつくりましょう。

よい、文化的な村を築き上げるため、これからの村の行動に一人前として、良識をもった責任と義務をはたさなければなりません。そのためにも、お互いじっくり話し合い、理解し合い、共通点を見いだし、実行して行くことであります。

これから大きく変ぼうとする、新幹線、高速自動車道の高速交通網は、村の夜明けを告げることであります。

おしよせる情報化社会に、我が中之口村の心の「民憲章」の精神を充分理解し生かすことであります。

全村民が生きてきた、経済的にも安定し安らぎのある豊かな村をつくるため、皆さんとの対話を基軸とし邁進する所存でございます。

最後に村民各位の益々のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

されました先輩諸氏はじめ、村長・村議会議員各位、並びに村民の皆々様方のなみなみなならぬご尽力と、郷土愛の発露によるものでありまして、地方自治の輝かしい成果と申すべきであります。

さらに今後におきましても、上越新幹線・三条駅の開通、高速自動車道漆山インターの完成、広域基幹農道、及び附帯農道の建設等によりまして、本村の将来は飛躍的發展が期待され

中とはお二十年のあゆみ

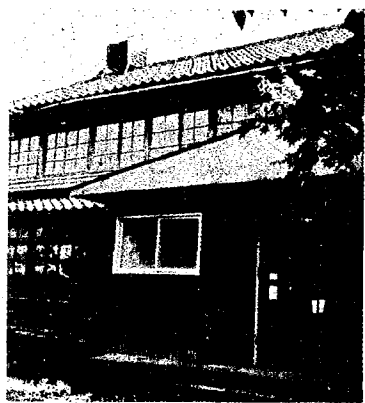
昭和二十九年

7月7日 中之口村誕生

官報第八二五二一号

總理府告示六一一号

地方自治法第七條一項の規定により昭和二十九年七月七日から新潟県西蒲原郡小吉村及び道上村を廃しその区域並びに燕市大字真木、姥島及び羽黒をもって中之口村を置くことになった旨新潟県知事から届出があった。
昭和二十九年七月六日
内閣總理大臣 吉田 茂
中之口村役場 本庁(旧小吉村役場) 支所(旧道上村役場)



7月7日 初代議長 齊藤 惣市氏
7月20日 村制初の農業委員会選挙 無投票
8月15日 初代村長選挙 当選 如沢 兵一氏
9月4日 中之口村商工会創立総会 初代会長 板井 義三氏

昭和三十年

4月1日 中之口村公民館報創刊
7月3日 村制初の村議会議員選挙 投票率 九五・一〇%
議長 荒木 甚一郎氏
8月3日 青年団旗完成
中之口村が誕生し青年団旗が完成
天神中学校で団旗樹立式が行われる
10月1日 第八回国勢調査

昭和三十一年

4月1日 中之口村農業共済組合 農業災害補償法(昭和二十二年法律第一八五号)第五条の規定に従

昭和三十三年

5月10日 役場新庁舎落成式 (大字中之口六八七番地) 二十二日から初仕事 本造平屋 二九〇・九㎡ 工事費 六一六万円



昭和三十三年

7月16日 第二回農業委員会委員選挙 投票率 九〇・三三%
会長 橋本 三三郎氏
12月17日 中之口村上水道県知事より認可 湯東村の一部(旧大原)からの給水要望により計画変更する。
1月1日 全村新正月を実施(現在の正月) 新生活運動の一環として旧正月をあらためる。
3月1日 旧木山川排水路完成一〇、一〇〇m 湯東村、月瀧村、中之口川東西部 二七七〇ha地盤沈下による被害から脱す。(湛水地帯が乾田化された)
8月5日 第二回村長選挙 当選 如沢 兵一氏 投票率 八九・七三%

昭和三十四年

7月3日 第二回村議会議員選挙 投票率 九六・〇五%
議長 大川 源五郎氏
9月1日 国民年金(無提出)の受付開始される。

昭和三十五年

3月1日 児ノ木排水路完成五、五〇〇m 燕市中之口村東西部を含む四九五ha ねずみ駆除 県一位
3月2日 針ヶ曾根 五十嵐 義雄氏 三一〇匹
4月1日 上水道全戸に給水 中之口村全部
湯東村、大曾根、国見、今井、称名、茨島、番屋、上大原、下大原 月瀧村大別当一部



10月1日 西小完全給食 三十三年一月九日より味噌汁給食が行われ好評となり郡下初の完全給食が行われた。
五五〇人でパン、ミルクその他経費一食十六円
12月12日 中之口村地域農村振興協議会設立 総合農村振興計画樹立

昭和三十六年

2月15日 豪雪被害 家屋 七五二万円 果樹 二一六万円 積雪 三mにおよぶ



6月1日 事業費 一〇〇、五一二万円 農業近代化資金七〇〇万円をまる推肥舎、耕転機、農舎、噴霧機購入 入資金に充てる。
7月15日 第三回農業委員会委員選挙 投票率 九三・四四%
議長 大野 三男止氏
9月1日 村民会館完成 モルタル平屋建 一三三・七㎡ 工事費 一、四九七千円
10月1日 第九回国勢調査
10月20日 町村合併専門調査研究会結成 (月瀧、湯東、味方との合併について)



空前の大被害発生 災害救助法の

昭和三十七年

12月1日 応急仮設住宅が完成(十二月から入居) 第二室戸台風で被災した保護世帯の応急仮設住宅の建設を急いでいる中之口村では、県認可の六戸分が十一月中に完成、十二月から入居。建設場所は湯浦、道上、打越、針ヶ曾根など各一戸ずつ尚、日赤県本部から贈られた災害救援物資を、各部落区長を通じて該当世帯へ、一八〇戸へ分配、日赤から贈られた物資は次の通りである。
缶詰一、一五二個 乾うどん一、一五二本 たばこ二六八個 塩二四〇kg 衣料品一、三九〇点
また、災害を受けた住宅などの復旧融資対策を急いでいたが、対象世帯の融資額も決まり、現金が手渡され被災者から喜ばれた。
融資申請は当初約三〇〇件、このうち今回決ったものは家屋全壊二戸を始め半壊大破など二五〇件で全額三、〇〇〇万円月額一、〇〇〇円ずつの割賦償還で八年間で返済する。

昭和三十七年

4月30日 東幼稚園開園 県内村立幼稚園第一号(定員90名) 木造平屋建 四二〇㎡ 工事費 五〇〇万円



8月3日 第三回 村長選挙 当選 如沢 兵一氏 投票率 九三・三三%
11月31日 中之口村、湯東村、上水道組合発足 中之口村役場で第一回会議により

正式発足する。
議長 大野 三男止氏
青年問題協議会開催
浪江 慶氏を招き、農村の近代化等研修。

昭和三十八年

1月23日 「三十八年一月豪雪」
大陸からの寒波は記録的な集中豪雪をもたらした長期に亘り全村交通マヒ
建物被害 一四四五万円
農業被害 四、一三三万円
商工被害 一、二九四万円
除雪費 一、二九四万円
7月3日 第三回村議会議員選挙
投票率 九六・一七％
議長 荒木 基一郎氏
7月15日 第四回農業委員会委員選挙
無投票
会長 吉原 広次氏
10月15日 統合中学校起工式
10月20日 公民館、東分館、西分館新装
第二室戸台風による被害を受け分館新装になる。

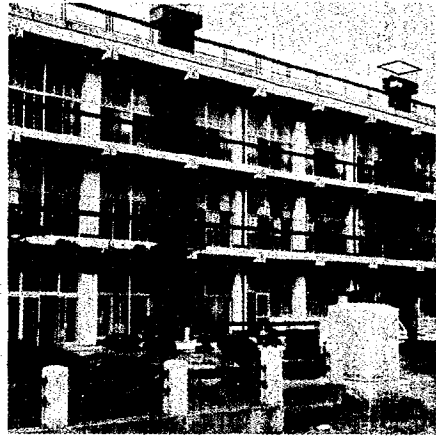
昭和三十九年

4月1日 中之口中学校誕生
小吉中学校、組合立天神中学校廃止
5月27日 白根衛生センター組合完成
し尿共同処理
住民の健康と地域の環境をよくし住みよい郷土建設のため組合が結成された白根市、中之口村、小須戸町、月潟村、味方村
6月21日 電化講習会
村では東北電力を招き、電化の講習会を行う。
8月1日 商工会スタンプ事業開始
8月8日 西小プール完成
巾十五m 長さ二五m
事業費 五〇三万円
10月1日 第十回国勢調査

昭和四十一年

3月5日 新木山排水路完成
中之口村、湯東村一円七三五ha
営農が大幅に改善される。
4月1日 白根衛生センター組合
ごみ運搬はじめる。
7月15日 第五回農業委員会選挙
投票率 八九・六〇％
会長 吉原 広次氏
8月5日 第四回村長選挙
当選 酒井 正五氏

8月23日 投票率 八九・二一％
河間保育園完成 定員六十名
木造平屋 二九〇㎡
事業費 五四七五万円
12月10日 中之口中学校完成
地盤軟弱のためサンドハイル法行う
鉄筋三階 四、七八六㎡(体育館鉄骨)
工事費 一九、二〇〇六千円
総面積 二一、三二五㎡



昭和四十二年

3月1日 八ヶ江用水路完成九、一〇〇m
燕市中之口村西、南部 巻町含む一、七二六ha
下流地域の用水不足が解消され農産物の増収をはかる
7月5日 第四回村議会議員選挙
投票率 九七・〇四％
二十二名が定数十六名になる。
議長 関 寅吉氏
7月26日 南小プール完成
巾八m 長さ十五m
工事費 一四五万円
7月29日 衛生処理組合発足
(白根市、中之口村、月潟村、味方村)
8月28日 集中豪雨



一日に三〇ミリの降雨
村内一帯に大きな被害
田畑冠水 六六九ha
床下浸水 四八戸
被害総額 二億円
12月1日 グレイド舗入
GD30型 小松式七五トン
六六馬力 四三四四万円

昭和四十三年

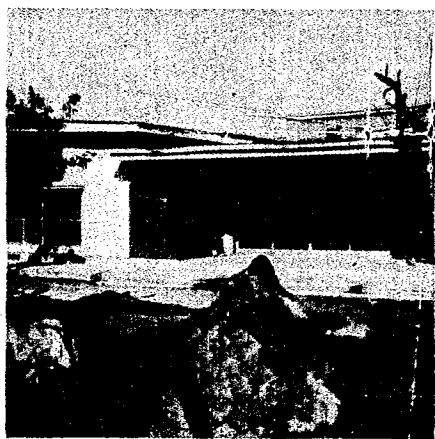
3月1日 中之口地区農免道路完成
県営事業として三八〇〇m
2月20日 南分館完成
天神中学校にあった田村記念館を南小地内に移築
3月26日 六分簡易郵便局完成
4月1日 中之口村、湯東村、上水道企業団発足
7月1日 中之口中学校門完成
寄贈者 長沼 三郎氏
工事費 百万円
7月15日 東小プール完成
巾十三m 長さ二十五m
総経費 四八〇万円
10月13日 第一回村民運動会実施
大会テーマ「健康と融和」
四、〇〇〇人参加



昭和四十四年

11月20日 西保育園完成 定員八十名
木造平屋 三七八、四m
総事業費 八五七千円
区域 打越、道上、羽黒、直木、姥島
1月18日 豪雪 雪害対策本部設置
降雪量 一五〇センチ
建物被害 九〇八五万円
道路被害 一、四三三万円
農業関係 二、〇九六千円
その他被害 一、一六九二千円
7月15日 第六回農業委員会選挙
投票率 九三・二六％
会長 吉原 広次氏
9月21日 大川博氏名画集寄贈
11月1日 聖徳絵巻他図書二〇〇冊
11月1日 一市三村消防事務組合発足
白根市、中之口村、月潟村、味方村、管理者 白根市長ポンプ三台

11月21日 救急車 一台
天皇、皇后陛下下に献穀
酒井村長 渡辺 義雄夫妻
フシヒカリを献納
11月21日 学校給食センター完成
工事費 一、九四〇万円
鉄骨平屋 一六二㎡
施設費 一、二四〇万円
児童、生徒の体位向上はかる。
11月23日 老人憩の家
(憩和荘) 名命十二月七日オープン
木造カラー鉄板葺平屋建三五四㎡
工事費 二、〇〇〇万円
郡内では最初の施設として建設
村内出身者のご寄付により設備等完備、おとしよりから喜ばれる。



昭和四十五年

4月1日 し尿、火災、ごみ共同処理発足
白根市、中之口村、小須戸町、月潟村、味方村
7月1日 六分門田間舗装二、五〇〇m
6分門設置
白根市、月潟村、中之口村の生命財産を昼夜守る。
ポンプ一台 救急車一台



7月15日 中学校プール完成
巾十五m 長さ二十五m
工事費 一、三八五万円
8月15日 第五回村長選挙
無投票 当選 酒井 正五氏
9月15日 NHKテレビ全国放送
明るい農村番組で
老人学級とお年寄りの生きがい



昭和四十六年

10月1日 第十一回国勢調査
11月23日 北陸自動車道路線発表一、八〇〇m
2月2日 総合計画審議会発足
村づくり五ヶ年計画樹立
3月1日 小吉地区農道舗装完了
農産物の荷いたみが防止され果樹の主要産地を育成
4月1日 消防六分々署 救急車配置
5月19日 アメリカ経済学者来村
ジョセフ パース氏
食糧問題研究のため米づくりとブドウ転作を視察



6月20日 第五回村議会議員選挙
投票率 九六・二四％
議長 関 寅吉氏
10月1日 一般地方道加茂巻線舗装
交通環境が整備される。
10月14日 上越新幹線ルート発表
中之口地内 四、三〇〇m

12月21日 中之口村基本構想決まる

生活環境計画
公園緑地計画
行政合理化等新幹線、自動車道
インターチェンジによる中之口村
新基本構想決まる。

昭和四十七年

3月1日 東部地区農道舗装一、三二五m
幹線農道の支線として農業経営の
近代化の促進をはかる。
4月1日 上水道二次拡張事業実施
総事業費 七五、七二七千円
給水戸数 二、一八六戸
給水人口 一〇、五五三人
普及率 九九・九%

一日最大給水量 三、八五〇m³
一人一日最大給水量 二七五ℓ
一人一日平均給水量 一六九ℓ

7月14日 第七回農業委員会選挙
投票率 八八・六〇%

7月18日 全国ブドウ研究会
会長 山際 喜丑氏
全国ブドウ栽培家一、四〇〇人参加
9月3日 クラウンレコード公社で
中之口音頭吹込み

作曲 遠藤 実氏
唄 北島 三郎氏
振付 若柳多賀三氏
レコード 二〇〇〇枚



11月22日 中之口音頭発表
おどり講習会



昭和四十八年

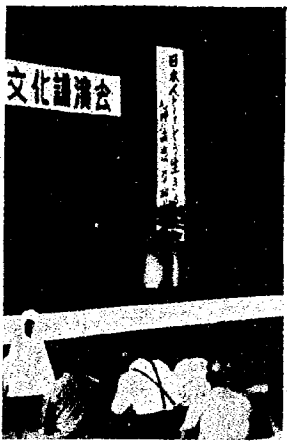
3月30日 県社会教育委員会来村
中之口村社会教育と老人憩の家を
視察 小林力三氏 玉井成光氏他

4月1日 七十歳以上医療費の無料化実施
電話自動化(全村)
4月25日 旧道上村役場壊す
5月20日 総合西小学校新築工事着工
8月6日 第一回盆踊大会
8月16日 第一回盆踊大会
8月17日 上越新幹線道路舗装完了
10月1日 茶院遺跡発掘
12月1日 平安時代の須恵器土師器
一、五〇〇点発掘 総経費六〇〇万円

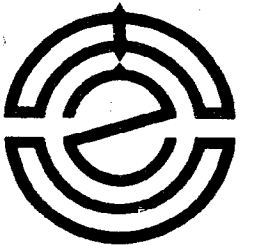


昭和四十九年

3月20日 東保育園完成 定員90名木造平屋
事業費 二四、一八〇千円
区域 東部地区全域
6月2日 文化大講演会
評議家 草柳大蔵氏中学校体育館
で講演
演題 日本人としてどう生きるか
参加者 四〇〇名



村章



「村章」決まる
中之口村が誕生し、今年で二十年を迎え、
記念事業として村章の公募を行いました。十
月、十四日のアイディアが寄せられました。十月
十七日の審査委員会が推せんされ、十一月二
日の村議会に於て決定されました。十一月二
日の発展と村民の融和をあらわしたものです。

村の木「まつ」 村の花「ゆり」

村を緑と花で
村の木に「クロマツ」
村の花に「ユリ」
私たちの生活環境を「緑と花」でかざり、
自然とのふれあいを大切に、心の豊かさを
保つため中之口村誕生二十周年を記念し、村
の木・村の花を制定する。
みんな協力し、育ててゆきましょう。
「クロマツ」
この木の優雅さと強剛さは風雪に耐え、千
歳を祝うものとして古くから絵や歌にも数多
くの名作が残されており、

庭園や盆栽としても人々の生活にとけ込み
躍進を続ける中之口村を象徴しております。
「クロマツ」の緑は四季を通じて変ることな
く、村民の心にゆたかに豊かさを与えてく
れる。
「ユリ」
日本的で気高く美しいこの花は、自然と良
く調和し、栽培しやすく静かに躍動する花と
して人々から親しまれております。
清く美しい「ユリ」は中之口村にふさわし
く、村民の心にゆとりと勇気を与えてくれま
す。

7月4日 東幼稚園完全給食
10月1日 統合西小学校結一期工事終る。
(体育館は六八〇㎡五〇年三月完
成予定)
鉄骨耐火構造二階建二、九六九㎡
高低分離方式プレールーム
工事費 三三、〇九〇万

中之口音頭

唄 北島三郎

中之口音頭募集歌より
遠藤 実・補作詩作曲 只野通泰・編曲

- 一、ハア！弥彦山から 雪どけ風が
おらが村来て 春になる
早苗育てて よい米にして
娘育てて 嫁にする
そうらてなか〜 中之口
- 二、ハア！どうハウスのトンネル抜けりゃ
パツとひろがる 桃の花
胸の想いが 実を結ぶまで
そつと抱きましょ 紺がすり
そうらてなか〜 中之口
- 三、ハア！嫁も姑も 手を打ち鳴らし
丸い輪になる 中之口
魚田あかねも 紅染めながら
踊りたいよと 背伸びする
そうらてなか〜 中之口
- 四、ハア！信濃川さえ 田植えの時にゃ
中之口から もらい水
東京となりよ 新幹線で
稲の穂波を 見においで
そうらてなか〜 中之口
- 五、ハア！雪が積れば 心が通う
あの娘来た夜は あとかくせ
春の足音 二人で聞いて
夢をみましょ 育てよう
そうらてなか〜 中之口

中之口村誕生二十周年を祝って

十一月十日記念式典
中之口村が誕生して、今年で二十年を
迎えました。二十年間のあゆみをたた
え、将来の躍進を祈念する二十周年式
典を、国会議員及び県関係、来賓七百
名を迎えて、十一月十日午前十時から
中之口中学校体育館において挙行いた
します。

中之口村誕生二十周年記念式典

(第一部)

- 一、開式のことば
- 二、君が代斉唱
- 三、黙とう(物故村政関係者の霊
に對し)
- 四、式 辞 中之口村長
- 五、あいさつ 中之口村議会議長
- 六、村章、村民憲章、村の木、村の
花、制定経過報告
- 七、表彰状贈呈
- 八、祝 辞
- 九、閉式のことば

(第二部) 民謡と演奏

- (1) 各小中学校児童生徒によるトランペ
ット演奏
- (一) 史上最大の作戦マーチ
- (二) 若い力
- (三) こんにははトランペット
- (四) 士官候補生
- (五) ワシントンポスト
- (六) 太平洋見序曲
- (2) 中之口村婦人会(踊り)
- (一) チャンキおけさ
- (二) 安来節
- (三) 佐渡そだち
- (四) 新津松坂
- (五) おてもやん
- (六) 白浜音頭
- (七) 岩室堪句
- (八) おけさ唄えば
- (九) 白浜音頭
- (十) 南の花嫁さん
- (十一) 北海盆唄
- (十二) ドンパン節
- (十三) 涙の操
- (十四) 新調佐渡おけさ
- (十五) 中之口音頭

湯浦新 福島 真木 河間 高野 東越 打越 東門 姥島 三ツ門 西門 羽門 針ヶ首 道上